

年頭あいさつ

明けましておめでとうございます。

ご家族お揃いで新しい年を迎えられたこと、心よりお喜び申し上げます。昨年は神島まちづくり協議会の活動にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。協議会も平成22年11月に設立し2年目を迎えました。

協議会として、地域の課題は、まず住民が連帯感を持って、解決することが必要であり、そのことが地域の活性化につながると考えていますので、皆様のご支援の程よろしくお願い致します。

新しい年が皆様にとって、素晴らしい年になりますようお祈り申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。

神島まちづくり協議会 会長 森中憲治

まちづくり神島

神島まちづくり協議会

笠岡市神島4136 (67-5885)



門松のいわれ

日本には昔から風習や伝統行事など大事に語り伝えられてきました。

お正月は本来神様(年神)が地上におりてくる日です。門松は、神様が私たちの家におりてくるときの目印です。おりてきた神様をお祝いするのが正月です。おもに1年中青々とした常緑樹が使われています。

現在取り組んでいるもの

公共交通検討部会

神島地区の重要な課題である、公共交通(主にバス)の取り組みは、公共交通検討部会を設け、9月、12月に検討しました。高齢化を目の前にし、このままでは地域のバスの便が無くなるのでは(利用者の減)との危機感で、2月に各地区の要望、意見を持ち寄って話し合うことになりました。地区のまちづくり協議会の役員又は地区長に、ご意見をお寄せ頂けたらと思います。皆様のご協力よろしくお願いします。

事業部会

「えひめAI」は毎月約2,200円培養し各家庭で使用するようになっています。

地域担当職員あいさつ

神島地区の皆さんには平素より市政並びに私達の活動に、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、地域と行政が協働してまちづくりを推進していくことを目的とし「地域と行政のパイプ役」として神島地区の担当となり1年3ヶ月が過ぎました。この間、地域の皆さんにはいろいろな事で助けて頂いて、その任務を遂行しているところです。これからも神島地区の皆さんのお役にたてるよう頑張りますので、ご支援とご協力をよろしくお願い致します。

小楨 美智夫 大友 久典 撰 友則



自主防災活性化部会

東海・東南海・南海地震をふまえて、自主防災を活性化することが重要だと考え、自主防災活性化部会を立ち上げ、9月に部会を開催し、各地区のハザードマップを12月末までに地区で作成するように決めました。次回開催は1月に予定しております。

各団体課題の洗い出し・対策の話し合い

6月末にまちづくり協議会構成の各種団体へ課題の提出をお願いしたところ、汁方自治会、神島栄養委員会、神島婦人協議会など5団体から「公園の管理、講習会への参加、講演会の開催」などの課題が提出され、8月4日代議員会議に回り①すぐ市役所へ要望(実施済)②9月の公共工事の要望に含めて要望する③24年度に実施する等の3点に区分し、解決に努めています。

保育所移転

神島保育所保護者会から、保育所が瀬戸地区に移転した場合の問題点が、平成23年10月27日神島まちづくり協議会に提出されました。それを受けて、まちづくり協議会代議員会を開催し、問題の解決策を審議した後、瀬戸地区移転の賛否の採決をした結果、瀬戸地区移転が議決されました。その結果をふまえて、笠岡市長あてに、瀬戸地区での移転を遂行するよう10月31日に文書で要望しました。



東海・東南海・南海地震を想定した防災訓練

見崎地区で、上記地震を想定した防災訓練を平成23年10月20日見崎公園において地区住民の約7割の参加者により実施しました。バケツリレー・消火器による初期消火、救助等行った後、津波の避難訓練を実施し、地区住民の防災意識が高揚したことが何よりも良かったと思います。これからも定期的に行い、意識の高揚を図っていきます。

